

# 中小企業を支える市独自の施策を

## 質問

小規模工事等受注希望者登録制度の受注機会の拡大をどう進めていくのか。

建設工事は、建設業の許可を要しない軽微な工事500万円まで拡大を。

## 企画部長

20年度は、工事が18件1千322万円、物品などが108件1億5千794万円の結果。登録者名簿を全職員が閲覧できる体制をとり、それぞれの部署で要件に該当する業者を選定している。

随意契約ができる130万円

の上限で今進めている。上限500万円に拡大する考えは現在持ち合わせていない。

## 質問

住宅リフォーム補助制度は、経済効果の大きさが注目され、30道府県154自治体に広がっている。岩手県宮古市では、20万円以上のリフォーム工事を市内業者に頼んだら一律10万円の補助する制度」を始めたところ、まちにリフォームブームが起きている。愛西市でも早く制度の創設を。

## 経済建設部長

現在、住宅リフォーム助成の考えは持っていない。近隣市町村はまだこの制度はできていない。今後の推移を見ていきたい。

## 質問

リースの支払猶予や期間延長の制度を周知徹底し、経済課に中小企業の危機を乗り切る

る総合的な窓口の設置を。

## 経済建設部長

中小企業の方々の相談は商工会が中心になってやっている。電話相談に応じているので利用してほしい。

# 期日前投票、確定申告を4庁舎で

## 質問

期日前投票が、市役所から最も遠い八開と佐織地区で集中的に落ち込んでいる。すべての市民に平等・公平に参政権を保障していく考え方に立つならば、各庁舎での期日前投票は復活すべきだが。

## 総務部長

今の時点としては、見直す考えは持ち合わせていない。

## 質問

今年の確定申告は、立田庁

る範囲で人数確保していく。われわれの考えが誤っていたとは受けとめていない。申告期間中に意見も聞き、今回の見直しを内部で進めてきた。

## その他の質問

・早尾町南川並地区など、道路冠水が起る地区の雨水処理の計画的整備を早く。  
・子宮頸がん接種へ市でも助成を



永井千年 議員

